



癒しと寛ぎの絶景宿
無味温泉
磯はなび
高岡市太田88-1
TEL.0766-44-6050(代)
磯はなび 検索

富山支局076(424)4141
FAX(422)3191
広告(421)2627
高岡支局0766(22)0676
FAX(26)3074
魚津通信局0765(22)0830
FAX(23)9085
砺波通信局0763(32)2678
FAX(32)8070

メール
toyama21@chunichi.co.jp
各種申し込み・問い合わせ
(いずれも休祝日のぞく)
購読(販売部)
[10:00~18:00] (0120)461051
催し・チケット(事業部)
[9:30~17:30] 076(233)4642
掲載写真・出版物(中日サービス)
[9:30~17:30] 076(221)9121
折込広告(折込センター)
[9:30~17:00] 0766(26)1120

スマホで便利
中日新聞 プラス
中日プラス
検索
登録のお問い合わせは
052(990)2731

中日Web
ご当地ニュースクイズ No.1025
「アイスピック」という醸造方法は、
ビールをタンクごとどうする?

六年前に東京から家族とともに立山町へ移住、農業を始めて、ゲストハウスなども手がける坂口創作さん(四)が、この春から養蜂事業にも乗り出した。狙いは耕作放棄地の効率的な活用だという。食環境ジャーナリストの金丸弘美さん(六)もその発想力を高く評価する坂口さん。どんな農業を目指しているのか? 金丸さんとともに訪ねてみた。

(中島健二)

食と農の力④

持続可能な社会へ
ここにある未来
北陸中日共同企画BBT

そんな農園の一角に、養蜂箱がある。今年三月末、岐阜県の養蜂家から女王蜂を群れごと譲ってもらった。既に周囲の山などからミツバチが多様な花の蜜を集めて採取しているが、この養蜂を始めたのも耕作放棄地対策。荒れた農地は獣害などももたらしやすく「野菜や米を作る普通の農業は難しい所。養蜂だったら獣害は関係がなく、収益性もあるから」といふ。

山の麓、少し高台の開けた所にあるのが坂口さんの「白雪農園」。美しい里山の光景だが、移住してきたころは耕作放棄地が広がっていた。県の「とよま農業未来カレッジ」で一年間、学んでから、農地を再生させた。果物や野菜を育て、稲作もやった。しばらくしてから一部を牧場にして二頭のポニーを飼い始めた。

早速、活用している。自宅から車で数分の立山町鑄物師沢で、同じく移住者で友人の岩崎朋子さんが開いている雑貨とカフェの「菓菓」に採れたばかりの蜂蜜を届け、岩崎さんが収穫する梅のシロップと合わせてジュースにしてみたら。カフェの新メニューになりそう。

採れたものを岩崎さんに商品してもらっているなど、近所付き合いが育んだ安心できるパートナーだそう。昨年十一月には農業と芸術のイベント「立山農芸祭」を農園で初めて共同で開いた。今年も十一月三日に開催する。

立山移住・坂口さん 蜂や馬の事業



耕作放棄地を開拓した農園の中の牧場で、子どもたちにも人気のポニーを見る坂口創作さん(左)と金丸弘美さん(右)＝立山町末谷口で



この春から始めた養蜂の集箱を手にする坂口さん＝立山町末谷口で

今回は、この立山町や南砺市を県内で取材した金丸さんによると、坂口さんのような取り組みをはじめ、新規就農者に対しても、国や自治体が新たな研修制度を打ち出すなどいろいろなサポート体制をとっている。スタート時にはかなりの資金を要することもあり、金丸さんは制度の効果的な活用を呼び掛けている。

旧市立看跡地利用

黒部市内の旧市立看跡地利用。黒部市内の旧市立看跡地利用。黒部市内の旧市立看跡地利用。

農地再生と収益化 両立

富商らしさ 新制服に込めて

富山市の富山商業高校で二十八日、新しい制服について考える授業があり、流通経済科の二年生八十人が参加した。

立花咲帆さん(左)は同級生のアイデアを聞いて「制服をリバーシブルにするというのは、どの学校もやっていないか」と思った。

小矢部市長選は11月20日投票。小矢部市長選は十一月二十日投票。



田智彦社長らの言葉に耳を傾けながら、新制服について考える富山商業高で

この日は東京のデザイン会社「hyphenate(ハイフネイ)」を減らす」などと、さまざまな視

デザイナー招き意見交換

生徒たちは今後、新制服のイメージ画を提出し、ハイフネイト側が意見を集約した複数のデザイン案を作成。そこにさらに生徒の意見を盛り込んで、八月のオープン

立候補予定者事務説明会は十月二十日午前十時から

旧高岡市立